

平成23年10月19日

岩沼市議会議長 沼田 健一 殿

(東部班派遣議員)

沼田 健一、国井 宗和、渡辺 邦信
須藤 功、長田 忠広、高橋 孝内

議会報告会開催報告書

議会報告会を開催いたしましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 日 時 平成23年10月8日(土) 午後1時から午後3時
- 2 派遣場所 玉浦公民館 参加人数9人(男8人、女1人)
- 3 活動内容
 - (1) 司会 長田 忠広
 - (2) 挨拶 沼田 健一
 - (3) 記録 渡辺 邦信
 - (4) 報告
 - ① 総務常任委員会 須藤 功
 - ② 教育民生常任委員会 国井 宗和
 - ③ 建設産経常任委員会 高橋 孝内

<主な質疑等>

1	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	70代	林住宅の今後はどうなるのか。
	回答議員		主な回答等の内容
	高橋 孝内	災害公営住宅建設と並行して考えているが、まだ何も決まっていない。市は県と相談中である。	
長田 忠広	今年中に大体の方向付けをしたいとのこと。		
2	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	70代	(1) 9月25日に初めて集団移転について市と懇談会があった。二野倉は、矢野目工業団地周辺が提示されたが、病院やスーパーがなく不便である。須藤議員は一般質問で集団移転質問をしたが説明してほしい。 (2) 二野倉の土地はどうなるか。
	回答議員		主な回答等の内容
	須藤 功	(1) 一般質問の中身は、貞山堀より東側を危険地帯にしてはどうかである。9月25日に話されたことであり、場所がここという話は分からない。	
沼田 健一	(1) 6地区が被災、流出戸数は600軒。内、集団移転希望者は350から400軒である。土地の大きさは、上限100坪。国の補助は、一件当たり上限1,655万円×移動件数が事業費とな		

	沼田 健一		る。今年中に方向性を決める予定になっている。
	須藤 功		(2) 仙台市は危険地域に指定している。そこでは、農業等はできるが、家は建てられない。
3	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	60代	蒲崎は、90%が集団移転に賛成。10%の16軒が残りたと言っている。集団移転は100%の同意がないと厳しい。各地区は、どのようにまとめたのか。
	回答議員		主な回答等の内容
	沼田 健一		相野釜、長谷釜は、集団移転の要望書を出した。 二野倉、藤曾根は、要望書を出す予定。蒲崎は、家に残り環境整備をと集団移転の両方を併記すると伺っている。
4	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	60代	山元町と蒲崎は、緊急危険地域に指定されている。ヘッドランドの早期建設を要望していたが、なかなか進まなかった。また、津波の防災マップを作ってほしいと要望していた。名取市は早く作った。なぜ岩沼市は作らないのか。
	回答議員		主な回答等の内容
	沼田 健一		国は、海岸浸食対策として、800億円、50年の計画であった。岩沼市は無堤防地帯対策が終わった。防災マップは、津波が6m来るという想定で作ってあるはずだ。 (注:後日調べた結果、6mもなく3.6mであった。)
5	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	70代	集団移転の危険区域の線引きが遅い。今、名取市に避難しているが、家を直し住むことに決めた。希望の丘では津波が防げない。阿武隈堤防に避難通路を造ってはどうか。
	回答議員		主な回答等の内容
	須藤 功		線引きについて、貞山堀がいいのではと質問したが、市の明快な答えがなかった。二重、三重の防御でも完璧なのはない。逃げることも考えなければならない。
	沼田 健一		千年希望の丘は、津波をびしっと止めるのではない。津波を防ぐものである。阿武隈堤防で助かった人が多い。市は、堤防への避難道路も検討している。
6	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	60代	被災者だけが負担するという考えは間違っている。西部地区も含め、市全体で支え合ってほしい。線引きは早くやってほしい。毎日どうしたらよいか、将来像が見えない。蒲崎は、残る人と集団移転の人と両方いいようにしてほしい。

	回答議員		主な回答等の内容
	長田 忠広		要望として伺っておく。
7	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	60代	防災マップを見ているが、津波浸水のマップではない。6m津波が来ると想定していたと初めて聞いた。そのような浸水対策の資料があるなら欲しい。
	回答議員		主な回答等の内容
	沼田 健一		後で、資料を差し上げます。(後日、差し上げた。)
8	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	70代	(1) 玉浦公民館敷地内の火の見やぐらにサイレンは付いているのか。停電になっても無線で指令してサイレンが鳴るようにしてほしい。 (2) 自主防災組織活動が不十分であった。地震・津波災害の行動計画が無いためではないか。
	回答議員		主な回答等の内容
	須藤 功		(1) 防災サイレンを鳴らしても、半径200mしか届かない。市は、将来増やしていくとのことである。
	須藤 功		(2) 市と自主防災組織との関係はおかしいのではないかと言った。自主防災組織は、その中だけでの自助だから、市がするものではないとの答弁であった。
9	性別	年代	主な質疑等の内容
	女	50代	(1) チリ地震の時の津波対策は風化している。今回の津波では避難しない人が巻き添えになった。納屋地区では全然、人が集まっていなかった。 (2) 連絡先がバラバラになった納屋地区はまとめる人がいなく、情報が伝わらない。各世帯末端まで、情報を流してほしい。他市町に行った被災者にも、細かい情報は渡せないのか。
	回答議員		主な回答等の内容
	沼田 健一		(1) 岩沼市は避難したパーセントは22%であり、他の市町に比べ高い方であった。 (2) 一人ひとりの条件がみな違うので、細かい情報までとなると、個別対応になると思う。
10	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	60代	(1) 支援物資の配布情報は、仮設住宅被災者優先になっている。被災者は仮設住宅にいる人だけではない。情報をもらえれば取りに行けるのに。 (2) ホットスポットでの測定は、どうなっているか。がれき処理している所では、放射線量の数値がはっきりしていないので不安である。

	回答議員		主な回答等の内容
	須藤 功		(1) 支援物資は、民間ボランティアでも配布していた。その団体では、冬物が余ったのでカビが発生し、焼却処分した。
	国井 宗和		(2) 市で測定している所の結果は、ほとんどが0.07~0.08であり、高い数値は出ていない。高い数値が出れば、市はホットスポットでの測定対応をするとのことである。現在、市は地域、各種団体に測定機械の貸し出しをしている。
11	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	70代	長田議員の一般質問で高齢者支援とあるが、内容を教してほしい。
	回答議員		主な回答等の内容
	長田 忠広		小地域福祉モデル事業を提案した。安心なまちづくりのために、町内の班、組に福祉リーダーを置くなどさまざまな福祉活動を行ってほしいという内容である。
12	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	60代	岩沼市の義援金。現在、岩沼市在住でないと支給されない。なぜか。
	回答議員		主な回答等の内容
	沼田 健一		岩沼市に1億1千万円の義援金が配分された。その義援金を、被災者全員に配布すると約1万円にしかない。市に入った義援金は、その自治体で独自に配分方法を決めている。
13	性別	年代	主な質疑等の内容
	男	60代	(1) 今日の新聞で、震災後のストレスで亡くなる人がいるとある。宮城県と仙台市は7月から関連死の審査会を設けているが、岩沼市はどうするのか。 (2) 岩沼市が審査会を設けていることは、なぜ今朝の新聞に載らなかったのか。
	回答議員		主な回答等の内容
	高橋 孝内 渡辺 邦信		(1) 岩沼市も審査会を設けている。 (2) 新聞は今の段階での設置記事を載せている。早い段階で設置されたものは、その時点で記事にならない場合がある。